



海王祭で「ぶっちゃんけ」トーク



ステージ上で盛り上がる「ぶっちゃんけ」トーク

自衛隊東京地方協力本部江東出張所（所長 目崎3海佐）は6月1日・2日の2日間、江東区に所在する東京海洋大学越中島キャンパスで行われた海王祭（学園祭）において、海上幕僚監部の募集推進室と連携して広報活動を実施した。

初日は天候に恵まれ、来場者の入りも上々で、江東所広報ブースにも対象者を含む様々な来場者が訪れた。ブースでは、ミニ制服等の試着のほか、昨年も好評であった海上幕僚監部募集推進室の艦長経験者による艦艇勤務の内容やその生活、キャリアパスについて率直にかつユーモアたっぷりな話術で、「ぶっちゃんけ」トークを実施。今年も、江東出張所で臨時勤務している女性戦闘機パイロットも参戦し、江東出張所の広報官を含めて、陸・海・空自衛隊で入り混じったトークに花が咲いた。

二日目は不安定な天候ではあったが、来場者数は衰えることなく、屋外ステージを使用したフリートークが実施され、学生だけでなく多くの家族連れにも「ぶっちゃんけ」トークを通して、自衛隊の本当の働く姿や裏話を知ってもらったことが出来た。

話を聞いた学生からは、「自分の思っていた自衛隊と違って、これなら私にもできる。」等の前向きな声が聞かれた。

江東出張所では、今後も地域に密着した募集・広報活動を実施すると共に、関係部隊・機関等とも連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する国民の理解と関心を高めることにより、自衛官等の募集に繋げたいとしている。



広報ブース内での「ぶっちゃんけ」トーク



他のブースの人とばちり！



海募募集推進室の人達と

城北地区隊を励ます会に参加



自衛隊東京地方協力本部城北地区隊（隊長 小竹2陸佐）は6月6日、豊島区のホテルメトロポリタンで実施された「令和6年度東京地本城北地区隊を励ます会」に参加した。

本会は、城北地区隊の実施する業務の重要性に銘肝し、激励・支援することを目的として、東京地本城北協力会、城北地区募集相談員連絡協議会、家族会城北地区協会の3団体が主催しているものである。

開催に先立ち東京地本長 横田陸将補による防衛講話が実施され、城北地区隊長及び各所長を含む約80名が講話「なぜ、いま防衛力の抜本的強化が必要なのか」に深く耳を傾けるとともに、質疑応答では厳しい募集環境の中、協力団体として今後の人的基盤強化のためにどのように募集協力へ取組むべきか等の活発な質問が上がった。

講話の後、「励ます会」が始まり、冒頭において主催者代表の城北協力会 鈴木会長が挨拶を述べ、来賓として本部長 横田陸将補をはじめ、山田美紀衆議院議員や佐藤正久参議院議員からの挨拶が続き、地区隊長からの平素の募集協力への謝辞の後、城北地区募集連絡協議会菊池会長が乾杯の発声をした。

会も中盤に差し掛かり、地区隊本部及び各所が、ものまねやコント、オカリナ等の余興で会を盛り上げた。特に、昭和四十年代当時の東京地連の広報官（島田友男氏）が作詞した「俺は男だ募集マン」を城北地区隊全員で歌い上げ、盛り上がりは最高潮に達した。

最後は、自衛隊家族会城北協議会 佐竹会長の三本締め、心地よい手拍子により終幕となった。

城北地区隊は、今後も協力者と共に歩み、前向きに粘り強く責務を全うするとしている。

